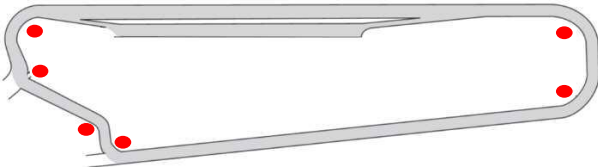


ブリーフィング資料(KV-40・KV-Moto共通)

■全般

- ・タイムスケジュールをよく確認し、クラスごとに定められた時間を遵守すること。
- ・走行中は、必ず決められた服装(つなぎ服、靴)、装備品(ヘルメット、グローブ)、
加えてKV-Motoは肘当て・膝当てを着用すること。
両カテゴリーとも、特にヘルメットのあご紐は確実に締め付けること。
- ・走行中、追い越しをする場合は前方車両の左側をゆるやかに追い越すこと。
- ・追い越しをする車両は、自車をさらに追い越してくる車両が来ていないかバックミラーで後方を確認すること。
- ・コース内の縁石は凹凸形状となっている部分があり車両が著しく不安定になるため走行を控えること。
- ・各コーナーの頂点付近には目印の為のパイロンが設置される。走行の目安として確認すること。



- ・「5番ポスト」先の右コーナー(3番目のコーナー)は特に注意して走行すること。
 - ① 進入時は前方の車両がブレーキをかけているため、追突がないよう十分注意すること。
 - ② コース幅が狭く、下りながらカーブする見通しの悪い箇所があるため、速度と他車との距離に注意し接触や横転、追突がないよう十分注意すること。
 - ③ 3番目のコーナー～最終コーナーにかけて路面が滑りやすくスピンやオーバーランの可能性があるため、急ハンドルや急制動を行わないよう十分に注意して走行すること。
- ・トラブル等で車両がストップしそうな場合、コース上では停車せず、後方から来る車両に注意しながらコースのイン側(右側)の芝生(グリーン)に入り、車両を安全な位置で停止させて降車すること。
降車後のドライバー・ライダーはヘルメットなど装備品を外さずにガードレールの外側へ退避すること。
- ・走行不能となった車両はレッカー車で回収される。回収した車両の引渡場所はPIT43～45のパドック側とする。
- ・カウルを装着している車両について、事故等の緊急時には道具を使わずにドライバーの手足だけでカウルを外して直ちに車両から脱出できるようにしておくこと。
- ・走行中のアクシデントは全て自チームの責任とする。他チームとの接触などがある場合も、互いに責任を追及することなく、自己の責任をもって対応すること。
- ・すべての参加者はマスクを着用し、こまめな手指消毒を行うとともにその他感染症予防対策に努めること。
なおドライバー・ライダーは走行中のマスク着用を不要とするが、トラブルで車両をコース上で停車させ、オフィシャルと接触する際に速やかに着用できるよう、乗車中もマスクを携帯すること。
- ・走行中の降雨に備え、スクリーンの外側の撥水、スクリーン内の曇り止め、取外しのほか、電気系統の水濡れ対策などを事前に施しておくこと。
- ・チーム員は食事や水分を十分に摂り、健康な状態で競技に参加すること。

■タイムアタック(予選)

- ・**スタートは『ピットレーン』上から行う。走行順は任意**とする。『駆動用電源およびサーキットブレーカ』の取付を終え、準備ができたチームよりピットレーンの指定スタート位置へ整列・待機し、スタート合図に備えること。
- ・オフィシャル(係員)の合図(日章旗の振り上げ)から10秒以内にスタートし、タイムアタックを開始すること。前車とのスタート間隔は約20秒とする。(状況により間隔を変更またはスタートを一時停止する場合がある)
- ・**スタート直後はパイロンラインのイン側**(右側)を走行し、その後は後方からの車両に注意して走行すること。
- ・西コース(以下、コース)を1周走行し、**ホームストレート上のコントロールラインでオフィシャルからのチェッカーを受けた後(ゴール後)、コースをもう1周してピットインレーンよりピットレーンへ入り、PIT43～45の前で停車**することで完走となる。
 ゴール車両は、他のタイムアタック中の車両に注意しながらコース右側へ進路を変更すること。また、他車両の走行を妨害してはならない。
指定のPIT前へ自走で戻れなかった車両は未完走扱いとなり、計測結果へのタイム加算や、ポイント付与対象からの除外措置が取られる。
- ・ピットイン後は速やかに『駆動用電源およびサーキットブレーカ』をPIT41～42の前で取外し、PIT40へ預けた後、PITへ車両を戻すこと。
- ・予選を**完走できなかった場合**(車両故障等によるリタイヤ、またはスタート後15分以内にゴール出来なかった場合、間違えてピットインレーンに入ってしまうミスコースした場合など)は、**予選終了後30分以内に、コントロールタワー3Fの大会事務局へ決勝レース出走申請を行うことにより、以降の出走が認められる場合がある。**その場合のスターティンググリッドは競技長により決定される。
- ・予選中に降雨等で路面状況が変化した場合も、原則として競技時間の変更は行わない。

■決勝レース(KV-40 Div1/Div1+混走…60分/KV-40 DivNEXT…45分/KV-Moto全クラス混走…30分)

- ・スタートは『ホームストレート』上から行う。『駆動用電源およびサーキットブレーカ』の取付を終えたチームから順次、PIT15前ゲートから手押しでホームストレートへ車両を移動させ、タイムアタックの結果順(上位順)にスターティンググリッド(以下グリッド)へ整列すること。
- ・別途発行されるスタート進行表に基づいてスタート手順に移る。
- ・メカニック、チーム関係者はスタート5分前にメカニック1名を残して速やかにピットに移動すること。
- ・オフィシャルの合図(日章旗の振動)により、全車一斉にスタートし、西コースを周回すること。
 ※日章旗はコントロールライン前方のフラッグ台において、シグナルブリッジのグリーンライトと同時に表示される。
- ・ピットインする際は、公式通知No.2で定められたピットインレーンよりピットレーンへ進入すること。
 再コースインする際は公式通知No.2で定められたパイロンラインの右側を走行し、後方の安全を十分に確認したうえで連続周回へ復帰すること。
- ・競技中におけるピットレーンの車両移動ルールは以下の通りとする。



- ①最も左側の走行レーンでは自走にて車両を徐行で移動させること。
- ②破線で囲われた走行レーンでは車両を手押し、または台車へ乗せて移動させること。
- ③停止したり作業をしたりする場合は、ピット前の白いコンクリート部分のみで行うこと。

- ・ドライバー交代は自チームのピット前の作業エリアで行うこと。作業エリアは他のチームとの共有のため、譲り合いながら使用すること。
- ・競技中、ピット以外の場所で停止した車両の修理は、他の車両の走行の支障にならない安全な場所で当該ドライバーのみが車載工具を使って行うことができる。
ピットインした車両に対しての修理は、登録されたメカニックと当該ドライバーに限って認められる。
- ・スタートから各競技時間が経過した時点で、トップ車両の位置に関係なくホームストレートのコントロールライン（タイム計測ライン）で、オフィシャルにより10分間チェッカーフラッグが提示される。チェッカーを受けたゴール車両はコースをもう1周し、公式通知No.2で定められたピットインレーンよりピットレーンへ入り、**PIT43～45の前で停車**すること。
- ・全ての車両は再車検の対象となる。**オフィシャルの指示に従い、PIT43～45へ車両を移動・停止**させること。正式結果発表までの車両保管の間は再度車検を行う可能性があるため、チーム関係者が車両保管場所に立ち入ることは許可されない。
- ・順位はポイント表に基づき配点され、各競技の獲得ポイントを合計した総獲得ポイント数にて決定される。
※嘆願出走車両については、決勝レースでの獲得ポイントを10Pマイナスする。ただし獲得ポイントが0以下の場合にはマイナスにはならない。

■決勝レースの中断について

- ・天候やその他の理由により競技継続が不可能と競技長が判断した場合は、競技を中断することがある。
- ・競技中断の合図（赤旗）が提示されたら、各車両は安全な速度まで減速した後に、ピットインレーンからピットレーンへ入り各自のピットへは戻らず、ピットレーン上のコントロールライン手前へオフィシャルの指示に従って整列すること。
なお赤旗提示後は一切の追い越しが禁止される。
- ・中断された競技は、公式通知No.4 ⑧に基づき再開または終了が判断される。

■走行中に表示するフラッグ(旗)

特別規則書、第2章 第10条 本競技会に使用するフラッグとその意味を理解し、フラッグの指示に従うこと。

【日章旗】…………… 走行スタート合図の旗。



【イエローフラッグ(黄旗)】…………… 前方に低速車または停止車両あり。前方に十分注意して走行。



【レッドフラッグ(赤旗)】…………… 走行の中断。ドライバーは直ちに速度を落とし、必要に応じて停車できる準備をしながら
→タイムアタック(予選)の場合…ピットレーンに入り、再度ピットレーン上のスタート位置へ待機し、走行再開後に再コースインして計測を受けること。
→決勝レースの場合…ピットレーンに入り、ピットレーン上コントロールライン手前のオフィシャルにより指示された場所に停車。



【チェッカーフラッグ】…………… 走行終了。チェッカーフラッグを受けた車両はそれぞれ指定された方法でピットへ戻ること。

